

ハイブリッドITへの移行を加速

HPE GreenLake



開始する >



目次

03

複雑なIT資産の
オーケストレーションは極めて困難

04

HPE GreenLake:
どこでも活用できる
ハイブリッド
クラウド

05

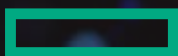
HPE GreenLake
Central: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化

10

あらゆる業務に対応する幅広い
選択肢と制御性

11

HPE GreenLake
が実現する、
どこでも活用できる
ハイブリッド
クラウド





^{1, 2} 『両者のいいところ取りを実現: パブリッククラウドのエクスペリエンスをオンプレミスのデータセンターに提供』、451 Research社、2019年10月

複雑なIT資産のオーケストレーションは極めて困難

多くの企業組織がオンプレミスでのITサービス維持とパブリッククラウドへの移行の間でバランスを模索する中、論理的な解決策として生まれたのがハイブリッドクラウドです。パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせることで単一の統合型IT環境を実現するハイブリッドクラウドモデルでは、従量制課金を活用してクラウドコンピューティングの拡張性と柔軟性を実現し、さらに専用ハードウェアのセキュリティも確保できます。451 Research社のレポートでは、IT意思決定者の57%が総合的戦略の一環として、オンプレミスとオフプレミスの統合IT環境の推進を検討していると報告されています。¹

しかし、ハイブリッドクラウド環境では運用の複雑化や障害発生につながる場合もあり、デジタルトランスフォーメーションの取り組みが失速する可能性があります。データセキュリティとプライバシーに対する懸念は課題リストの上位に位置しており、ユーザーの68%がセキュリティとコンプライアンスをパブリッククラウド導入の障壁と考えています。²さらに、アジリティの欠如、複雑なIT運用、莫大なコスト、困難なリスク管理が、ハイブリッドクラウド戦略の妨げとなる可能性があります。

これらの課題を解消するため、HPE GreenLakeは、エッジ、コロケーション施設、データセンターでクラウドサービスを提供し、さらにハイブリッド環境全体を管理および運用できる単一の統合型ソフトウェアプラットフォームであるHPE GreenLake Centralも提供しています。

適切に構築されたハイブリッドクラウド環境とは

1. すべてのアプリとワークロードを、整合性のあるクラウドエクスペリエンスで管理できる
2. リソースや有益な情報へのオンデマンド アクセスにより、イノベーションを加速できる
3. IT資産全体の可視性、コンプライアンス、制御性が確保されている



HPE GreenLakeを選ぶ3つの理由

1

あらゆる場所でハイブリッドクラウドを提供: ポイントアンドクリック式のセルフサービスかつオンデマンドのハイブリッドクラウド環境、柔軟性の高いリソース活用、オンプレミスITでの従量制課金モデルが実現。

2

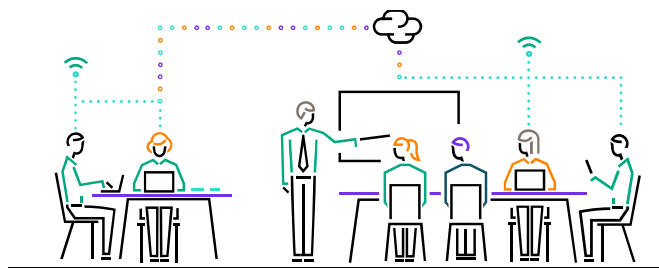
ハイブリッド エクスペリエンスを統合: ハイブリッド環境（プライベートおよび複数のクラウド）全体のエクスペリエンスを統合して、IT運用からクラウド運用へと移行。

3

卓越した制御性と有益な情報を提供: 包括的なコンプライアンス機能、およびコスト最適化に役立つインサイトの取得と分析により、ガバナンス、制御性、可視性が向上。



HPE GREENLAKE: どこでも活用できるハイブリッドクラウド



柔軟性を高めて市場投入までの時間を短縮する、堅牢なas-a-Serviceのポートフォリオによって、あらゆるアプリとデータを場所を問わずにハイブリッドクラウドで利用できるようにするHPE GreenLakeは、機械学習の運用(ML Ops)、コンテナ、ストレージ、コンピューティング、仮想マシン (VM)、データ保護といった、幅広いクラウドサービスポートフォリオの迅速な展開を支援します。先行投資は必要なく、わずか14日間でお客様のものに納品されます。しかも、HPE GreenLakeでは、ハイブリッドクラウド プラットフォーム全体のコストとコンプライアンスに関する詳細情報の提供や管理の簡素化とともに、高度な測定機能によって、使用量に応じて増減する、正確で透明性の高い従量制課金を実現します。さらに、HPE GreenLakeの

24時間365日の監視および管理機能により、インフラストラクチャ管理に伴う煩雑な作業から解放されます。

このようなすべてを集約する統合型セルフサービス プラットフォームであるHPE GreenLake Centralは、ハイブリッド資産全体の運用とインサイトを一元化し、シンプルなポイントアンドクリックでハイブリッド資産のコスト、ガバナンス、パフォーマンス、セキュリティ状況だけでなく、包括的なコンプライアンス機能とコストに関する広範かつ有益な情報と分析を単一の統合ビューで提供すると同時に、コストの把握と管理、コンプライアンスの管理と実証、さらにパブリックやプライベートクラウドならびにオンプレミス ワークロードの適切な組み合わせの最適化を可能にします。

IT環境全体で整合性のあるクラウド エクスペリエンスを提供するHPE GreenLakeの 運用はクラウドネイティブかつ高度に自動化されているため、各プラットフォームごとの高額なトレーニングやスキルは不要です。

HPE GREENLAKE CENTRAL: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化



HPE GreenLake Centralでは、ワークロードの管理と最適化に欠かせない優れた可視性を提供するとともに、パフォーマンス監視、キャパシティプランニング、新規インフラストラクチャのプロビジョニング、コンプライアンス準拠のすべてを一元化されたダッシュボードで実行できます。詳細は次の通りです。

1 IT資産全体を管理する統合ポータル

2 直感的なIT消費分析

3 将来のIT容量ニーズに対応

4 HPE GREENLAKEクラウドサービスの展開と管理

5 継続的なコンプライアンス管理でリスク軽減

アプリとデータをクラウド化し、すべてを単一の統合ポータルで管理

- セルフサービスのハイブリッドクラウドで迅速に対応。直感的なセルフサービスポータルでは、HPE GreenLakeクラウドサービスのプロビジョニング、管理、最適化に必要なすべてに簡単にアクセスできます。
- ロールベースアクセスにより適切な情報を取得。HPE GreenLake Centralは、役割や業務に応じた機能とインサイトを自動的に提供するため、迅速かつ容易に業務を進めることができます。
- すべての主要業績評価指標 (KPI) の概要表示で有益な情報を即座に入手。コスト、リソース稼働率、コンプライアンス、運用などの主要事項を瞬時に確認できるので、運用状況を常時把握できます。
- マーケットプレイスで最新のアプリやサービスを体験。1クリックで新しいサービスをお試しいただけます。

HPE GREENLAKE CENTRAL: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化

HPE GreenLake Centralでは、ワークロードの管理と最適化に欠かせない優れた可視性を提供するとともに、パフォーマンス監視、キャパシティプランニング、新規インフラストラクチャのプロビジョニング、コンプライアンス準拠のすべてを一元化されたダッシュボードで実行できます。詳細は次の通りです。

1

IT資産全体を管理する統合ポータル



2

直感的なIT消費分析



3

将来のIT容量ニーズに対応



4

HPE GREENLAKEクラウドサービスの展開と管理



5

継続的なコンプライアンス管理でリスク軽減



優れたIT消費分析機能でハイブリッド資産全体の使用状況とコストを可視化

- サービスタイプ、拠点別などで、最も高いコストを表示。インタラクティブな図表やグラフでIT予算の使用状況を追跡し、特定ニーズに合わせて最適化できます。
- オンプレミスとパブリッククラウドにわたる使用状況を集約。複数のツールやスプレッドシートの使用を大幅に削減し、使いやすい単一アプリケーションでIT環境全体の使用状況やコストを管理できます。
- ルールベースの有益な情報に基づいて最適化が必要な領域を特定。使用率が低いまたは過剰に使用されているリソースや、孤立したVMなど、使用率とコストを最適化する余地がある領域のインサイトをプロアクティブに取得できます。

HPE GREENLAKE CENTRAL: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化

HPE GreenLake Centralでは、ワークロードの管理と最適化に欠かせない優れた可視性を提供するとともに、パフォーマンス監視、キャパシティプランニング、新規インフラストラクチャのプロビジョニング、コンプライアンス準拠のすべてを一元化されたダッシュボードで実行できます。詳細は次の通りです。

1

IT資産全体を管理する統合ポータル



2

直感的なIT消費分析



3

将来のIT容量ニーズに対応



4

HPE GREENLAKEクラウドサービスの
展開と管理



5

継続的なコンプライアンス管理でリスク軽減



HPE GreenLake クラウドサービスに必要な IT 容量を取得

- インストール済みおよび予約済みの IT 容量に対する使用率の監視。フル機能を備えたキャパシティプランニング機能により、インストール済みおよび予約済み容量に対する使用容量状況を正確に把握できます。
- 容量追加の時期を予測。今後の IT 容量ニーズを、推測には頼らず、使用履歴と傾向に基づいたキャパシティプランニングで正確に予測できます。
- あらゆるレベルで IT 容量をプランニング。HPE Consumption Analytics では、ハイブリッド環境全体にわたって集約されたストレージから特定のアレイやサーバーまで、あらゆるレベルでの IT 容量を柔軟に予測できます。

HPE GREENLAKE CENTRAL: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化

HPE GreenLake Centralでは、ワークロードの管理と最適化に欠かせない優れた可視性を提供するとともに、パフォーマンス監視、キャパシティプランニング、新規インフラストラクチャのプロビジョニング、コンプライアンス準拠のすべてを一元化されたダッシュボードで実行できます。詳細は次の通りです。

1

IT資産全体を管理する統合ポータル



2

直感的なIT消費分析



3

将来のIT容量ニーズに対応



4

HPE GREENLAKEクラウドサービスの展開と管理



5

継続的なコンプライアンス管理でリスク軽減



HPE GreenLakeが提供するプライベートクラウド環境全体でワークロードをプロビジョニング、監視、管理

- VM、コンテナ、ML Opsプロジェクトの作成と管理。直感的ユーザーインターフェイスを活用した、インスタンスのセルフサービス式プロビジョニング、管理、およびレポートにより、DevOpsチームを強化できます。
- すべてのCPU、ストレージ、メモリ使用率に関する統計情報を表示。リアルタイムでリソース使用率統計データを取得してインスタンスを監視することで、ITリソース全体を効率的に活用できます。
- プリロードされたワークロードによる迅速なプロビジョニング、またはその場でのカスタマイズ。事前構成済みのワークロードを活用、もしくは特定ニーズに合わせてシンプルなプルダウンメニューでワークロードをカスタマイズして、リソースを数分でプロビジョニングできます。

HPE GREENLAKE CENTRAL: 単一プラットフォームでハイブリッド資産を運用、管理、強化

HPE GreenLake Centralでは、ワークロードの管理と最適化に欠かせない優れた可視性を提供するとともに、パフォーマンス監視、キャパシティプランニング、新規インフラストラクチャのプロビジョニング、コンプライアンス準拠のすべてを一元化されたダッシュボードで実行できます。詳細は次の通りです。

1

IT資産全体を管理する統合ポータル



2

直感的なIT消費分析



3

将来のIT容量ニーズに対応



4

HPE GREENLAKEクラウドサービスの
展開と管理



5

継続的なコンプライアンス管理でリスク軽減



1,500以上の制御ポイントを有する監視体制によって、強固なガバナンス、リスク、コンプライアンスを実現

- 特定されたリスクを迅速に軽減。コンプライアンス違反が特定されると、HPEのエキスパートがお客様と協力して、必要に応じてフレームワークを修正および調整します。
- 監査の効率化。包括的な監査レポートにより、監査に必要な時間とコストを削減できます。
- コンプライアンス違反およびリスクを容易に特定。最新のKPIでガバナンスとコンプライアンスを常に把握します。
- 最新の制御機能で最適な状態を維持。主要な運用管理と規制管理の継続的な評価および更新により、リスクを軽減し監査基準への準拠をサポートします。

あらゆる業務に対応する幅広い選択肢と制御性

HPE GreenLake Centralの卓越した機能とメリットによって、組織における各業務と役割でのビジネス成果が高まります。

CIO向けの優れた可視性と制御性

一元的なダッシュボードと運用コンソールを活用して組織のハイブリッド資産の制御権を取り戻し、他部門に対するサービスブローカーとしての役割を担い、セキュリティ、IT容量、コスト、コンプライアンス、リソース使用率などの幅広いKPIを監視して、必要に応じた対処ができるようになります。オンプレミス環境でセルフサービス エクスペリエンスを実現するHPE GreenLake Centralの極めて優れた可視性と制御性によって、イノベーション促進と戦略強化に注力できるようになります。つまり、複雑なハイブリッドクラウド運用での障害対応に追われる状況から、効率的なハイブリッドクラウド運用への移行が実現することになります。

CFO向けの効率的なコスト管理と予算管理

ハイブリッド資産全体のテクノロジーコストをリアルタイムで取得できるため、パブリックおよびプライベートクラウド、データセンター、エッジ環境における使用状況とコストをサービス、プロジェクト、場所、事業部門ごとに把握できます。卓越したコストの可視性を提供するHPE GreenLake Centralによって、財務部門では的確なコスト管理が可能となり、予算内でのプロジェクト実施が実現します。

リーガル、コンプライアンス、セキュリティチーム向けの容易なリスクアセスメントとリスク軽減
組織のハイブリッドIT資産のガバナンスとセキュリティ状況を単一の統合ビューで把握できるとともに、KPIダッシュボードでリスクを特定し、1,500以上の制御ポイントを監視して的確に対処することで、自社や業界の規制を確実に順守できます。さらに、リスクと違反を容易に特定して対応できると同時に、包括的なレポートにより監査にかかる時間を大幅に削減できます。

開発者向けの迅速なコード展開

シンプルなポイントアンドクリック式のインターフェイスにより、基盤インフラストラクチャを気にすることなく、迅速なコード展開が可能です。

すべてのユーザーに対応する、整合性のあるシンプルなハイブリッドクラウド環境
エッジからクラウドに至るまで、あらゆるワークロードに対応する整合性のあるシンプルなハイブリッドクラウド環境から多大なメリットを享受できます。



HPE GREENLAKEが実現する、どこでも活用できるハイブリッドクラウド

資金の有効活用、運用と財務における卓越した柔軟性、スタッフの大幅な負担軽減が次なる飛躍へとつなげます。HPE GreenLakeで、あらゆるアプリとデータを場所を問わずに有効活用できる最先端のハイブリッドクラウド環境を実現する方法を是非ご確認ください。

お客様に最適なご購入をサポートする
プリセールス スペシャリストに
お問い合わせください。



Chat



Email



Call

詳細はこちら

hpe.com/jp/greenlake

共有



最新情報を入手